

無差別攻撃あってはならない

ガザ紛争 即時停戦を求め 理事会声明

協会は11月11日に開催された第8回理事会で、「イスラエル・ガザ紛争の即時停戦を求め、決議」を採択した。決議概要を紹介する。

10月7日、パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム組織ハマスが、イスラエルに越境攻撃。報復としてイスラエルが軍事行動を開始、戦争状態になって2カ月が経過した。イスラエル軍によるガザ攻撃は救急車や病院にも及び、ガザ地区の保健当局によれば、ガザ地区の死者数は1万人超と発表されている。その半数近くは子どもだ。

イスラエル・ガザ紛争の即時停戦を求める決議 (概要)

いま、ガザ地区は子どもたちの墓場と化し、国境なき医師団や、国連職員も多く亡くなっている。国際人道法では、武力の行使は相手の軍事力を破壊するものに限られ、非軍事施設や非戦闘員、一般市民などへの無差別攻撃を行ってはならないとしている。

大阪府歯科保険医協会は、歯科医療を通じて国民の命と健康を守ることを職務とする歯科医師の団



10月28日、ガザ侵攻やめよとパレードする人たち

体として、イスラエル・ガザ紛争の即時停戦を求める。どんな経過や理由があれ、市民から命や安全、生活の場を奪う無差別攻撃はあってはならない。一刻も早く市民の安全を確保すべきである。

11月11日 大阪府歯科保険医協会第8回理事会

抜いた歯はだれのもの

患者から、補綴物や歯を返してほしいと言われた経験はないだろうか。長らく「おいしく食べる」を支えてくれた、歯との別れが名残惜しい気持ちにはわからなくはない。他方、インターネットに目を向けると「金パトラ」と打つと検索上位に「金ハラ 買取」と自動的に表示され、閲覧すると「高価即日買取」「歯科用金パラ即日現金買

取」などの字が踊る。患者・国民に身近なブックオフでも「銀歯買取中」と宣伝がされている。患者の口腔内の歯や補綴物は当然患者のものである。

去歯牙は患者の同意なく勝手に廃棄してはならないのだから。トラブルになる前に次善の策を取ることが肝要であると考え

次善の策としては、患者に廃棄の意思を確認したうえで、その旨を書面で残すことだろう。例えば、問診票に「抜去歯牙や歯冠修復物などは、感染性廃棄物の恐れがあるため当院での処分を同意します」などチェックボックスで同意を確認し書面に残し、実際に治療中に対象物について、「廃棄してよいか」の確認をすることが後からの申し出に対応できるのではないだろうか。



ある。法的にも患者の口腔内の補綴物は患者に所有権があり、除去後も同様と論ずる弁護士もいる。

去歯牙は患者の同意なく勝手に廃棄してはならないのだから。トラブルになる前に次善の策を取ることが肝要であると考え

現行の健康保険証を残すよう、国会行動にて協会が大阪選出国会議員へ面談を申し入れ、自民党・柳本顕衆議院議員が面談に応じた。柳本議員はマイナ保険証について、「現在、マイナ保険証の利用が進んでいない中で現行の保険証廃止の期限を切ることが問題だと思っている。高齢者や障がい者など様々な状態の方のためにも一定の選択肢を設けることは必要」と応じた。その一方で、「マイナンバーカードへの情報の紐づけは必要だと考えて

11月16日 柳本顕衆議院議員と面談

現行の健康保険証を残すよう、国会行動にて協会が大阪選出国会議員へ面談を申し入れ、自民党・柳本顕衆議院議員が面談に応じた。

柳本議員はマイナ保険証について、「現在、マイナ保険証の利用が進んでいない中で現行の保険証廃止の期限を切ることが問題だと思っている。高齢者や障がい者など様々な状態の方のためにも一定の選択肢を設けることは必要」と応じた。

その一方で、「マイナンバーカードへの情報の紐づけは必要だと考えて

東大阪・八尾・柏原地区

子どもの歯みがき不安

東大阪・八尾・柏原地区は11月3日、八尾市内で開催された八尾市民まつり会場で歯科健診を実施した。矢部あづさ、海道充、各歯科医師と歯科衛生士2人が出務し、子ども95人・大人41人の計136人が受診した。親が子どもの歯みがきについて心配し、「子どもの歯の生え変わりの時期で、歯みがきがきちんとできていないか不安」「歯みがきを嫌がる子どもにはどのように対処したらいいか」など日頃の悩みを寄せた。磨きにくい歯間や、奥歯の磨き方について模型を使って解説した。歯みがきを嫌がる子どもについて、歯ブラシを痛がるのであれば、ガーゼを指に巻いて歯を磨く方法など丁寧にアドバイスがあった。そのほか受診時の金銭面での不安や、保険証廃止についても困惑の声が複数寄せられ、「現行の健康保険証を残してください」の請願署名には98筆の賛同協力があった。



矢部氏



海道氏

泉州地区講習会

改定前に学ぶ 歯周病の継続管理

泉州地区は歯周治療の流れや算定ルールを改めて捉え直そうと11月18日、泉佐野市内で社保講習会を開き11人が参加した。講師に社保研究部員の藤井佐都樹氏と志倉興紀氏を招いた。志倉部員からは、協会によく寄せられる質問例点をいくつか紹介した。参加者からは、「普段、治療の流れを意識していないが傾向診療になっっていないか気を付けた」「早期補綴を求められた場合の対応はやはり悩ましい」などの感想が寄せられた。



講習会参加者

泉州地区は歯周治療の流れや算定ルールを改めて捉え直そうと11月18日、泉佐野市内で社保講習会を開き11人が参加した。講師に社保研究部員の藤井佐都樹氏と志倉興紀氏を招いた。志倉部員からは、協会によく寄せられる質問例点をいくつか紹介した。参加者からは、「普段、治療の流れを意識していないが傾向診療になっっていないか気を付けた」「早期補綴を求められた場合の対応はやはり悩ましい」などの感想が寄せられた。

家族のサポートグループ保険のご案内(団体定期保険)

男性の4人に1人は **75歳までに亡くなっている**と統計が出ています!!

※厚生労働省「令和3年簡易生命表の概況」を参考

- もしもに備えて「お手頃な」保険料で、残される家族に「大きな」保障を届けませんか?
- グループ保険(死亡・高度障害)は**最高6,000万円まで保障!**

※6,000万円以上の保障をご希望の際は、運営団体が保険医共済会の新グループ保険(最高6,000万円)にも上乗せでご加入いただけます

グループ保険をオススメする理由

- 団体保険ならではの「お手頃な」保険料
- 健康状態の告知によるお申込み、医師の診査は不要です
- ライフイベントに合わせて保障額の見直しが可能

お問い合わせは、大阪保険医協同組合 / 保険共済部 (☎06-6568-2230) まで

ご加入プラン	43歳(男性)	保険金額 6,000万円	月額保険料 9,840円
		【配当率が20%の場合】年間保険料11万5,080円(9,840円×12)の20%(23,616円)を配当金として還元いたします	
ご加入プラン	34歳(女性)	保険金額 3,000万円	月額保険料 1,830円
ご加入プラン	36歳(男性・配偶者)	保険金額 3,000万円	月額保険料 3,630円